



# しなの町 議会だより

No. 165

平成31年1月31日号

冬の伝承行事「どんど焼き」  
(東町)



## 第415回定例会 12月会議

10・12月会議概要 …… 2～4ページ  
賛否一覧表 …… 5ページ  
一般質問 …… 6～9ページ

全員協議会だより …… 10ページ  
政策提言 …… 11ページ  
ぎかい活動365日 …… 12～13ページ  
わたしの出番・一茶と俳句 …… 14ページ

発行/信濃町議会 発行責任者/小林 幸雄  
編集/議会広報調査特別委員会  
〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2  
TEL(026)255-2212



# 第415回定例会が閉会

## — 344日間の日程を終了 —

### 町長提出案件117件、請願・陳情11件、議員発議8件を審議

### 新年を迎えて



信濃町議会議長 小林 幸雄

新年おめでとうございます。町民の皆様には、ご家族おそろいで、健やかに希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申しあげます。

新しい年が、皆様にとって、また当町にとって、明るく素晴らしい一年になりますことを心から願うものであります。

さて昨年は町長選挙があり、無投票で横川町長が二期目の当選をされました。様々な課題があるなか、議会といたしましては是非々の立場で、お互いに切磋琢磨し、町民の福祉向上に努めていくことを願っています。

また、全国的に議員のなり手不足が問題化し議会制民主主義の危機と言われているなか、当町も例外ではありません。解決策のひとつとして地域全般で取り組む必要があると思います。各地域に必ず一人の議員が存在することが重要であります。

そして今年も元号が変わる年であります。これをひとつの契機として、議会活動をさらに発展させ、与えられた責務を十分に果たす決意であります。町民各位の一層のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。年頭の御挨拶といたします。

### 第415回定例会10月・12月会議

定例会10月会議が10月9日に、12月会議が、12月5日から20日までの16日間の期間で開催されました。10月会議では、一般会計補正予算第8号など2案件についての審議が行なわれました。

12月会議では条例改正案3件、広域連合・一部事務組合規約等の変更4件、一般会計ほか各特別会計・企業会計補正予算案、副町長人事の同意案件など、町長提出案件22件、ほか陳情案件3件と議員発議2件が審議され、すべて可決・同意・採択されました。なお、一般質問は8名が行ない、町政を質しました。12月会議の閉会をもって、第415回定例会も閉会となりました。

一般職の職員の給与に関する条例及び特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○12月に示された人事院勧告による給与改定の条例改正。

問 報酬審議会で質疑がなかったということですが、答申内容は、

### 「矢保利の館」が生まれ変わります

目的広場」を一緒に管理し、使用料金を定めるための条例改正。

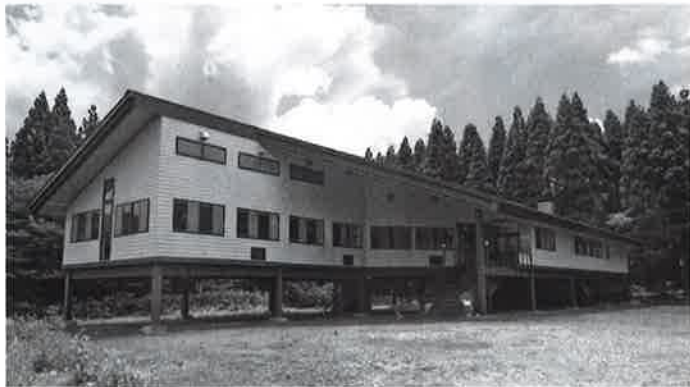
### 条例改正

### 委員会審査 主なもの

信濃町矢保利の館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○「矢保利の館」と「多

問 使用時間が午後5時までと規定されていますが、延長は可能ですか。  
答 指定管理者が必要と認めるときには町長の承認がいります。



生まれ変わる矢保利の館

# 12月会議 横川町政2期目の初議会

## 補正予算 新病院の計画策定業務を可決 高橋新副町長の人事案件に同意

答 「特別職(町長・副町長・教育長・議員)の期末手当について、0.05月分引き上げとする」との答申でした。

### 社会文教常任委員会

信濃町介護保険条例の一部を改正する条例

○第1号被保険者の保険料について、金額の表記を改定する条例改正。ただし、軽減措置が変わらないので、保険料は変わりません。

問 県の指導によって表記を変えるのですが、保険料改定のために連絡があれば良かったのでは。  
答 軽減が行なわれているかが分からないので改正が求められました。改定時に注意深く表記すればよかったですと思います。

### 規約の変更

長野広域連合規約の変更  
○長野広域連合の事務所が長野市箱清水から同市松岡に移転することによる規約の変更。

北信保健衛生施設組合し尿処理事業の終了に伴う財産処分に関する協議

北信保健衛生施設組合しん芥処理事業からの長野市離脱に伴う同組合からの脱退に係る財産処分に関する協議

### 北信保健衛生施設組合規約の変更

○北信保健衛生施設組合から長野市が離脱し、更に、し尿処理事業も終了することによる規約の変更。

なお、信濃町は、斎場事業のみ組合に参加しています。

### 契約の変更

工事請負契約締結事項の変更

○総合会館改修工事について、段差解消と床の張替え等を追加するために、3359万円を増額する内容の契約変更。

〈変更前〉

9331万円

〈変更後〉

1億2691万円



床の張替え工事等を追加 総合会館

が審議され、可決されました。12月会議では、初日に国保・後期高齢者の各保険事業への繰り出し金や、総合会館の備品購入費など、差し引き2017万円を減額する第9号補正が、

### 新しい病院の建設を目指して 計画策定支援に1980万円を計上

### 補正予算

定例会10月会議では、信越病院の医療用「テレメータ」購入の繰り出し金と、ナウマンゾウ博物館の販売物品の追加予算の合計60万円を増額する一般会計補正予算第8号

また、17日には条例の改正による人件費補正や、信越病院建て替え後の経営計画等に関する計画策定支援業務(コンサルタント委託料)への繰り出し金を含む、2400万円の増額補正第10号補正が審議され、いずれの予算案も最終日に可決されました。

※10ページに関連記事



一般会計補正予算

～10月会議より～
30年度一般会計補正(第8号)
60万円の増

歳入 主なもの
○諸収入 60万円の増
歳出 主なもの
○衛生費
病院事業会計繰出金
83万円の増
○予備費 65万円の減
ほか

～12月会議より～
30年度一般会計補正(第9号)
2017万円の減

歳入 主なもの
○国庫支出金 275万円の増
○財産収入 376万円の増

○繰入金 1400万円の減
○町債 1220万円の減
ほか

歳出 主なもの
○民生費
国民健康保険特別会計繰出金
563万円の増
後期高齢者医療
特別会計繰出金
341万円の減
後期高齢者医療
広域連合負担金
1231万円の減

○衛生費
病院事業会計繰出金
657万円の減

○教育費
総合会館整備事業
410万円の増
ほか

30年度一般会計補正(第10号)
2400万円の増

歳入
○基金繰入金
2400万円の増

歳出(人件費を除く)
○衛生費
病院事業会計繰出金
1980万円の増

※補正後の合計予算
58億4744万円

※1万円未満は四捨五入

第415回定例会10月・12月会議
議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成●反対/病欠・公務出張等により欠席・議決に不参加(議長は議決に参加しない(-))

Table with columns for session (10月会議, 12月会議), proposal number, content, and voting results for various council members.

※陳情第2号と発議第8号は、賛否が同数となったため、「議長裁決」により採択・可決となりました。

議長裁決で
陳情第2号を採択

陳情

安全・安心の医療・介護
の実現と夜勤交替制労働
の改善を求める陳情

〈陳情者〉
長野県医療労働組合
連合会
執行委員長 小林 吟子
(議長裁決にて採択)

賛成討論 伊藤 博美議員

医療現場と介護現場
は人手不足により深刻な
状態にあります。身近な
地域で安心して医療を受け
ることができるように
するために、医療機関
に勤務する医師の絶対数
の確保が必要です。
看護、介護職員の現場
でも同様です。患者の苦
情に対応できない、指導
がままならず人が育たな
い、頑張つて働いても業
務が増えて肉体的、精神

的に、もう限界と訴える
現場もあります。
安全、安心の医療を求
めて討論とします。

信濃町第3投票所の駐車
スペース確保を求める陳
情書

〈陳情者〉
西部総代会会長兼
赤渋地区総代
熊倉地区総代
竹内 泉

瑞穂地区総代
吉澤 志和
長水地区総代
小林 純一

(採択)
清水 善茂



第3投票所に指定されている
赤渋研修集会センター

町商工業振興に関する陳
情書
信濃町商工会
会長 間瀬 一朗
(陳情者)

賛成討論 佐藤 武雄議員

商工会活動は、人口減
少及び高齢化に伴う事業
者の減、会員の減少の中、
小業者への経営支援等
をしております。
陳情は空き家の有効
活用の補助制度、野尻湖
親水公園の棧橋、老朽化
対策、ランニング練習の
町野尻湖第2駐車場の
拠点化、JA野尻湖支店
跡地の水戸公園との一
体化の整備です。観光で
停滞している町として
は、積極的かつ早急に課
題解決は大変重要と考え
ます。
また農産物、特産物プ
ランド化、PRには具体
性がありません。このこ
とを意見と付し賛成致し
ます。

議員発議

民生委員の処遇改善等を
求める意見書
提出者 酒井 聡
(可決)

副町長が決定

提出者 伊藤 博美
(議長裁決にて可決)

人事の同意

○信濃町副町長の選任に
つき同意を求めることに
ついて



(同意)

高橋 博司さん
(柏原)

第416回定例会が
招集されました。

1月10日、第416
回信濃町議会定例会が招
集され、12月19日までの
344日間の会議期間を
決定しました。

町長の招集あいさつ
の後、条例改正案2件と
一般会計補正予算案の計
3件を審議し、可決しま
した。(審議結果等は次号掲載)



また、4月には後期議
会構成の組み換えが予定
されています。



# 病院建設の検討報告の公表は

## 町長「むしろ混乱を引き起こす」



森山 木の实 議員

質問 病院建設について  
はなかなか情報が出され  
ませんでした。11月末  
に病院施設整備の検討を

するプロジェクト会議の  
報告が議会で説明されま  
した。この報告書は今後  
の計画に直結するわけ  
ではないと理解しまし  
た。

質問 町民が混乱するこ  
とはないと思います。  
町の皆さんの関心事  
は、建て替えをするのか  
どうか、診療科目は、場  
所は、などですが、報告  
では「建て替えは急務」  
「内科・外科・整形外科・  
小児科・眼科・リハビリ  
科は存続」「場所は現在  
の場所と旧柏原小学校が  
候補だが、まだ絞られて  
いない」「平成36年4月  
の開院を予定」となっ  
ています。これらを町民に  
公表しても、「まだ決定  
段階ではない」というこ  
とを町の皆さんはきちん  
と読み取るでしょ  
う。町民を信頼し、  
要約でもいいので  
広報しなかに載せ  
ていただきたい。  
そして情報をオー  
プンにし、町民と  
議論した上で合意  
を形成しながら病  
院建設を進めてい  
ただきたいと要望  
します。

### 一般質問



旧柏原小も候補地 (未定)

質問 報告の内  
容は公表できる  
ということだ  
が、今後どうい  
う形で町民に知  
らせていきま  
すか。

町長 まだ詰め  
ていくべき課題  
が多く、むしろ  
混乱を引き起こ  
すということ  
で、内容につ  
いて開示する時期  
ではないと判断

# 質問

## 聞きます!!



酒井 聡 議員

## 地の利を活かして 人口減少対策を

### 町長「頭に置きながら 対応します」

質問 人口減少対策につ  
いて、子育て世代の呼び  
込みが重要と考えますが  
今後の計画を伺います。  
総務課長 長野市等への  
転出が多くなっています  
ので、食い止めるため  
の施策が必要だと考え  
ます。

と把握しています。  
質問 捕獲頭数につ  
いて、近隣市町村との比  
較は。  
産業観光課長 イノシシ  
は、信濃町では11頭、飯  
網町はその6倍、飯山市  
では2倍です。ニホン  
ザルは、信濃町では4  
頭、妙高市ではその4倍  
です。

町長 実際に、ある会社  
からは「そういう住宅が  
あれば」という話もいた  
だいています。今後、そ  
のことも頭に置きながら  
対応したいと思えます。

質問 この倍数の違いの  
原因は何でしょうか。  
産業観光課長 飯網町で  
は、くくり罠を使ってお  
り、奨励金も1頭につき  
1万5000円を出して  
いると聞いています。



130kgの大イノシシ

有害鳥獣による  
被害は  
質問 今シーズンに取り  
まどめられている、有害  
鳥獣被害の状況は。  
産業観光課長 水稲は  
イノシシによる被害で  
5万5000円、トウモ  
ロコシはクマによる被害  
で15万円、その他野菜の  
被害額は10万5000円

# 一般

## ズバリ!

## 観光客の危機管理は

### 町長「ホームページで 災害情報を自動的に 掲載できます」



湊 喜一 議員

質問 観光客に対する危  
機管理に対して①避難所  
案内看板の多言語化②災  
害時のメール配信③外国  
人観光客の避難所運営マ  
ニュアル④避難所の通訳  
体制⑤領事館等との連携  
⑥避難所のWi-Fi化⑦大

型ホテルとの協定⑧観光  
施設等の耐震化  
以上8点の現状と対  
策は。  
町長 ホームページで  
は、非常時に災害情報を  
自動的に掲載できるよう  
なっています。  
避難所案内看板は、内  
閣府の標準化の指導のも  
と制作して、可能な限り  
順次進めています。  
総務課長 緊急速報メー  
ルの多言語化はできてい  
ませんが、32年更新時ま  
では検討します。  
外国人用運営マニュアル  
はありません。通訳ボ  
ランティアは、県と連  
携してやっていきます。  
今後、県国際課との連  
携、具体化を進めていき  
ます。



多言語化が望まれる  
案内看板

他の施設につ  
いては、維持管理費  
を勘案しながら進  
めていければと  
思っています。  
建設水道課長  
観光施設の耐震  
化は、一事業者が  
診断後、指導はし  
ていますが、方向  
性は決まっていま  
せん。  
他「通学路の安全  
確保について」、「花い  
っぱい運動について」質  
しました。

## 病院新築 2期目の所信は

### 町長「極めて重要と 覚悟している」



永原 和男 議員

質問 2期目は病院新築  
が重要になる。町民の期  
待も大きい。所信は。  
町長 体制の確立と経営  
のバランスが課題。極め  
て重要と覚悟している。  
質問 基本計画はいつま  
でに策定するのか。  
副町長 31年12月までに。

質問 粗大ごみの回収は、  
住民福祉課長 6月と10  
月に拠点回収する。  
質問 せめて春夏秋冬の3  
回は必要だ。  
町長 必要なら回数を増  
やすことは当然考える。

### 粗大ごみ処理は どうなる

信濃町の障害者雇用は

	実雇用率	法定雇用率	差
役場	2.2%	2.5%	△0.3%
教育委員会	3.2%	2.4%	+0.8%
信越病院	2.0%	2.5%	△0.5%

— 平成30年6月現在 —  
平成30年の障害者雇用

要介護認定による  
障害者控除の適用は  
質問 要支援・要介護認  
定者で、税金の障害者控  
除の対象人数は。  
住民福祉課長 約500  
人が対象者。  
質問 税金の確定申告が  
始まる。その場で証明書  
を発行してもらえるか。  
住民福祉課長 確定申告  
時にも申請があればできる。

質問 理解できない。障  
害者雇用の門戸を広げる  
ことを要望する。  
総務課長 実雇用率と法  
定雇用率には差がある  
が、法定雇用障害者数は  
達成している。  
質問 法定雇用率を満た  
していないが。  
総務課長 実雇用率と法  
定雇用率には差がある  
が、法定雇用障害者数は  
達成している。

### 一般質問

⑦避難所のWi-Fi化⑧大

町が領事館等と連携す  
ることは難しく、県との  
連携になります。  
宿泊施設との応援協定  
はしていませんが、今後  
検討してまいります。  
教育次長 避難所のWi-  
Fi化は、総合会館で予定  
しています。

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。)



# 町内企業との協力

## どう進めるのか

### 町長「人材募集や

### 優遇措置で後押し」



伊藤 博美 議員

質問 確かな町づくりで町内中小規模事業所との協力をどう進めていきますか。

町長 労働力不足解消に行政としても積極的に協力し、優遇措置をPRして、できる範囲で後押ししていきます。

### 新規就農について

質問 農業を生業にしようとする若い世代の確保と育成にどう取り組みますか。

町長 生活できるかが課題です。今ある制度上の支援をしながら、新たな支援があれば対応し

ます。

質問 サポート体制は進んでいますか。  
産業観光課長 稲作の勉強会をこの冬3回行なう予定です。改良普及センターと営農支援センターの共催です。また、販路拡大のための首都圏のデパートPRに町も一緒に協力します。

質問 良い農地の紹介をしていますか。  
農業委員会長 新規就農者との交流を含めて農地等の斡旋も少しですが出てきています。

コスト、人的コストは。総務課長 担当課により事業が執行され、人件費の負担は増えています。

## 病院、経営健全化 意識改革は

### 町長「患者さんに

### 寄り添って対応」



佐藤 武雄 議員

質問 健全化に関し医師看護師、職員の意識改革が必要と思うが。

町長 開設者の立場でもあり患者さんに寄り添って対応してほしい。病院事務長 医療スタッフ事務スタッフを含めて健全化を理解して対応をお願いしています。

### 地方創生について

質問 交付金依存の考えについて伺います。

町長 自主財源の厳しい自治体にとって有効活用し町創りに結びつきます。

質問 各事業への時間的

### 除雪対策について

質問 除雪車53台で充分ですか。

建設水道課長 充分対応できると考えています。

質問 町内4地区のJVを組んだ入札率ほどの位ですか。  
建設水道課長 1ヶ所は73%ほど、他3ヶ所は100%でした。



除雪対策は万全ですか

### トリアスロンについて

えないかと相談いただいています。支援していただければと思っています。

質問 事務局体制についてJTU及び県トリアスロン協会と話しあ

いは。  
副町長 町としては、県トリアスロン協会にお願いたいと役員会等で検討されています。

関係する皆さんと協議し事務局が移行できればありがたいという考えです。

### 六次産業化について

質問 農業従事者の高齢化で、人手不足や所得の伸び悩みなど、課題解決の一つとして六次産業化は重要と考えるが。  
産業観光課長 町として国の補助事業の活用により積極的に支援していきたい。

質問 現在古海で稲作を行っている農業法人が、甘酒の加工場を古海への計画がありま

す。見解は。  
総務課長 作業所などの設置場所について町有地が使

用している。



六次産業の拠点となるか！旧古海小

## 保育園と小中学校のクーラーは

### 町長「できるところから手をつけていきたい」



片野 良之 議員

質問 補正予算に保育園と小中学校のクーラー設置に該当する項目が見受けられませんが来年度は。

町長 小中学校のラーニングセンターは国の補助事業としてクーラー設置が採択になり、今年度事業として進めます。保育園関係については、新年度予算の中で、できると

ころから手をつけていきたい。

### 公共交通のコースは

質問 デマンドバスのふれあい広場へのコースとか、足腰が弱いため黒姫駅の階段通路を使えない方から、古間駅から自宅まで利用できないかとの話があり、ルート設定の問題など対応が道半ばと

感じています。協議会での検討・研究ではどう話が進んでいますか。  
副町長 ふれあい広場については、富士里地区限定ですが実施可能ということで組みました。他地区からのふれあい広場への利用は、今後また詰めさせていただきます。

質問 アンケートでは、あまりそういう意見が出なかったと言われました。以前の質問でも使いたくとも使えない人たちの声も拾って欲しいと申し上げましたが、まだ活かされていないと感じます。タクシートの福祉チケットの増量など検討し



昇り降りがキツイ駅の階段通路

ているのですか。  
副町長 タクシー券は福祉対策として件数を多く交付していますが、相対的な中で便利になるよう検討します。

### 福祉灯油の実施は

質問 昨年町長に福祉灯油の申し入れを行ないましたが実現しませんでした。対応する基準の金額はいくらぐらいですか。  
住民福祉課長 平成25年、26年に行なった際に、灯油価格が配達時に110円を超えるという基準を示しました。

町長 慣例というものを踏襲しながら、担当課には推移を見守るよう指示しております。

こと、さらにこれを伸ばし、新たな課題に取り組んでいきたい。それが町民の福祉の向上につながると、緊張感を持っていきます。

### 農業関係について

質問 農業者の減を移住、定住で考えては。

産業観光課長 農業委員会では本年4月には、農地法での農地取得の条件を引き下げ、流動化の環境を整えました。さらに定住促進係とも連携、農地付きの空き家の物件を登録し、移住して家庭菜園などの農業にも携われるような条件整備も行なっています。

質問 農業を育成する、農業へのきつかけなどの窓口は町で考えていますか。  
産業観光課長 町の中できつかけ作りなどは特にありません。

質問 1期4年の実績が2期目で花が咲くのではと、多くの町民が継続に期待し、信任をしたのではないのでしょうか。  
横川町長の抱負は。  
町長 結果的に無投票というのですが、政策論争をしながらこの立場であればと思います。4年間取り組んできた



米作りからの脱却（シーダー作業）

新規就農者の募集や親元での農業継承ができるなどを、広報などで紹介していきます。  
質問 大きな設備投資が必要な米作りからの脱却が課題となっています。いかがですか。  
町長 長期的な視野では、米作りからの脱却ができる体制づくりが求められているのではないかと思います。

米作りの農家の皆さんの意識も、どんな方向へ進むべきか考える時期ではないかと思っています。

## 一般質問



# 全員協議会だより

全員協議会は、行政の内容や議案について議員が理解を深める会議です。  
この全員協議会の傍聴については、議会事務局（255-2212）にお問い合わせください。

原則公開

## 信越病院新築を目指して

副町長をトップに町職員等で組織した「信越病院設備プロジェクト会議」が、昨年の8月に報告書をまとめています。昨年11月30日の全員協議会で、報告書の説明がありました。

### 〈報告書の概要〉

#### 新病院の予定地は

- ・現在の敷地
- ・旧柏原小学校敷地の2箇所を新しい病院の予定地として検討

#### 病床（ベッド）数は

- ・一般病床数35床
  - ・介護医療院38床
- 現在の99床から73床へ、26床減少を検討

#### 病院建設のスケジュール予定は

基本計画の策定  
平成31年1月から12月の間

#### 基本設計

平成32年4月から平成33年の1月の間

#### 実施設計

平成33年2月から平成33年11月の間

### 建築工事

平成34年4月から平成35年12月の間

### 開院

平成36年4月

### 〈主な質疑〉

Q 報告について町長はどう考えるか。

A 課題がたくさんある。

Q 医師の定着について検討したか。

A 人材の確保と施設建設は並行して取り組む。

Q 病院建設よりも、経営の健全化が先ではないか。

A 収支バランスについてはさらに検討する。

Q 病院建設の補助金はないのか。

A 補助事業を検討したが、詳細な積み上げには至っていない。

## 安心・安全で快適な雪国生活の向上

### ① 局地的集中豪雪の観測網の充実と除雪体制の確立（要旨）

降雪の観測体制の充実と道路の拡幅除雪帯や歩道の確保対策など道路行政の推進を求める。また、非常時での広域的な除雪体制が、的確に迅速に機能するよう対策を講じること。

### ② 安心で安全、快適な雪国生活への施策の充実

#### 1) 除雪支援員の派遣適用範囲の拡充（要旨）

県が定める除雪支援員派遣要綱について、「同じ敷地内にある日常の生活の用に供する建物（物置・車庫等）」に実施要綱を改正し、適用範囲を明確にすること。

#### 2) 自然降雪型屋根への改修補助について（要旨）

現在の改修補助要綱のように、屋根の勾配などの条件によっては、改修にあたり適用できない場合もあるので、適用条件について見直しをすること。



県庁にて要望を行なう

## 特別豪雪地帯の県知事要望

信濃町を含む県内10市町村が「特別豪雪地帯」に指定されています。毎年、これら市町村による協議会から県に対して要望事項が提出されています。

今年度は11月19日に県庁にて要望活動が行なわれ、信濃町議会からは左記の2件について要望を提出しました。

## 政策提言

今年度も、議会から町に対しての政策提言が行なわれ、12月20日に手交されました。今年度の提言事項は下記の4項目でした。

### 1. 水道事業の運営について

- (1) 現在、水道事業は町が全面的に行なっています。今後、コンセッション方式や民間への全面委託は行なわないこと。
- (2) 水道事業の広域化には組みしないこと。
- (3) 水源地及びその周辺の土地を外国資本等から守る措置を講ずること。

### 2. 教育大綱の具体化について

学力・体力向上や部活動を通じた人材育成について、教育大綱の中に総合的なプロジェクトチームの立ち上げを盛り込み、教育委員会にあっては、財政面でのサポートを行なうよう求めます。

### 3. 一茶記念館の活用と俳句文化の振興などについて

- (1) 町内の俳句愛好家や句会、学校の俳句創作の活動に積極的な支援として記念館を広く開放し、町民向けのコンクールの開催などを求めます。
- (2) 俳句による町おこしのため、創作指導や選者を任せられる人材を発掘・育成し、町外からの人材登用にについては「地域おこし協力隊」制度などを活用し、創作の支援策を講じていただきたい。

### 4. 給食費の公会計化と公的補助制度について

学校給食の公会計化に対する研究と準備を始め、関係する条例、特に経済的に困窮している家庭や多子家庭に対する負担軽減に関する条例の整備に向けた研究を始めるよう求めます。



今年も議会から提言書を提出

### 病院再整備 策定支援業務

# 1980万円 可決

## しっかりした 計画づくりを

新しい病院をつくるための第一歩を踏み出すために、1980万円の補正予算を可決しました。本会議での主な質疑は次のとおりです。

Q 1980万円の事業内訳は、算出根拠は。

A ①基本計画②建設事業費概算費の算出③今後の事業収支計画の精査。積算の根拠は国交省基準です。

Q 病院単体についての計画策定が、保健センターも含めるのか。

A まずは病院について、しっかりと計画を持ちたい。

Q 町民の意見を反映する場はあるのか。

A いくつかの段階で、町民の皆さんのご意見をお聞きするか決めていない。

## 専門業者への委託内容は

主な委託の内容は次のとおりです。

- 〈概略〉
- ① 新しい病院のベッド規模や機能。
  - ② 「介護医療院」のあり方、整備・運用の方法。
  - ③ 事業コスト抑制のための整備手法。
  - ④ 新しい病院の建設場所を選定する進め方。
  - ⑤ 地域包括ケアシステムを構築するにあたり、病院が果たすべき役割。



新しい病院の計画づくりが始まる



# ぎかい活動365日

(10月から12月までの主なもの)

**長野県特別豪雪地帯指定市町村協議会総会**  
豪雪地帯の市町村は、毎年県に対して豪雪対策を要望しています。昨年の協議会は11月8～9日に白馬村で開かれました。



信濃町からも要望を提出 (11ページをご覧ください)

**町政功労者表彰式**  
平成30年度の表彰式が11月6日に行なわれ、議員も列席しました。



功労者代表のあいさつ

**地方自治政策課題研修会**

11月16日、長野県議会主催の研修会が開かれました。テーマは「SDGsによる地域活性化に向けたアプローチ」。「中山間地における自動運転サービス実現に向けた取組」です。



県の課題は

## 県関係要望箇所の現地調査をしました。

町では県道や河川の改修などを県に要望しています。11月7日、その改修等の進捗状況を、議会、町、長野建設事務所との合同で調査しました。調査したのは次の場所です。



- ・諏訪の原 地域交流施設  
災害における地区の防災拠点とするため、また、ヘリポートの設置のため整備を要望しています。
- ・古間 鳥居川  
左岸のかさ上げをしました。
- ・北信 栃原北郷信濃線  
狭い道で急カーブが多いところです。
- ・富ヶ原 栃原北郷信濃線  
工事がだいぶ進み、県道が広がりました。
- ・仁之倉 信濃信州新線  
観光ルートとして大型バスが通る県道の拡幅を要望しています。
- ・上山桑 杉野沢黒姫(停)線  
一部、狭いところが残っています。
- ・野尻 古間(停)野尻線  
野尻湖へ通じる観光ルートですが、狭いところがあるので広げています。



## 委員会の活動

### 社会文教常任委員会

10月31日から11月1日の2日間の日程で、石川県白山市の「千代女の里俳句館」と、中能登町の「鹿島小学校」「中能登中学校」への所管事務調査を行いました。  
千代女の里俳句館では、設立の経緯や運営の状況など木田清館長さんからお話をいただきました。白山市は、古くから俳句文化が地域に浸透しており、数多くの「句会」が俳句館を中心に活動しているとのことでした。



千代女の里俳句館 中央が木田館長



中能登町の鹿島小学校を視察

実際に、入場者のほとんどがこうした「句会」の皆さんの創作活動で使われるとのこと、一茶記念館の今後の運営や俳句文化の振興に関わる提言材料になりました。  
中能登町の小中学校では、学力・体力の向上や地域の中での子育てについて「夢プロジェクト」というものを立ち上げて、町内の中学校1校と小学校3校が、共通した目標に向けた活動と学校運営を行なっています。  
また「なかの子ども憲章」の制定のほか、教育委員会の取り組みとして

### 総務産業常任委員会

10月23、24日、静岡県富士市と山梨県甲斐市のクラインガルテン(滞在型市民農園)を視察しました。クラインガルテンは、区画ごとに「ラウベ」という休憩用の建物が付いている貸し農園です。  
視察の目的は、クラインガルテンによって信濃町の遊休荒廃地の有効利用ができるか、交流人口の増加が図れるか、また、移住・定住促進につながる

て学校給食費の第2子以降無料化や、中学校部活動の県大会や全国大会への参加費と遠征費の補助など「教育の町・中能登町」として特徴のある教育施策について、説明をいただきました。  
当委員会は、これら2か所での調査結果をもとに政策提言を取りまとめ、提出しました。



甲斐市のクラインガルテン

るかを調査するためです。富士市のクラインガルテンは、20区画あり、運営は富士市の農協です。一方、甲斐市のクラインガルテンは、農事組合法人が指定管理者として50区画を運営、ほかに日帰りの貸し農園が27区画あります。  
ともに後継者がいない果樹園などを有効利用し、急傾斜ですが日当たりがよく、富士山が見える場所でした。農園の利用料金は年40～50万円ぐらいで、自分で野菜を作り週末をゆっくり過ごしたい人たちの人気を得ているとのことでした。  
民間でも運営できるというところで、今後の参考になりました。

## 現地調査

12月7日、総務産業常任委員会は、議案審査の前に現地調査をしました。

〈町道路線の廃止と認定について3路線を調査〉  
どれもいったん廃止し、新たに認定するものです。

① 柏原仁之倉線  
町道が県道仁之倉交差点を跨いでいますが、終点を交差点手前にします。

② 小古間線  
国道が改修により一部移動、町道の起点を国道(東側)まで延長します。

③ 落合公園線  
国が国道脇歩道まで除雪することになり、起点が国道から離れた。

また終点手前部分に



③ グレーチングまでを国が除雪

は建物があり道路自体は残っていないため、起点と終点を変更した上で新たに町道として認定します。  
〈矢保利の館を調査〉  
議案96号矢保利の館の条例改正案審査のため、現地を調査しました。  
〈赤波研修集會センター前の土地を調査〉  
第3投票所となるセンター前に駐車スペースを確保してほしいという陳情の審査のためです。

## 編集後記

新年おめでとうございませう。亥年を迎え、6人で議会だよりの編集がスタートしました。  
より読みやすく、議会の内容が伝わるように進めようと思えます。  
皆さまからのご意見が頂けると幸いです。(青)

## 表紙の写真

正月も過ぎ、町内各所で「どんど焼き」が行われました。無病息災・五穀豊穡を祈願しました。



こんにちは

# わたしの出番です

桃井美鈴さんと、村山秀彦さんの登場です。



## 移動しない移動図書館

大井 桃井 美鈴さん

みちくさ文庫の街角ポストをご存知ですか？貸し出し用の本が入っている、小さな三角屋根のポストです。

昨年春、古間の商店街の奥で仲間と一緒に私設図書館「みちくさ文庫」を開きました。仲間の一人と「移動図書館もしたいね」と話していたところ、「ビッグイシュー」という雑誌でポスト図書館の写真を見たのでした。町のあちこちにポストを置いて定期的に本を入れ替えれば、それは移動しない移動図書館です！今、五つ置かせてもらっ

ています。

下校時に子供たちがかけ寄ってきて本を借りていきます。本の入れ替えの時に、立ち寄ってくれた人と好きな本や人生についておしゃべりしたりします。また「自宅前にポストを置きたい、こんな活動がしたかった」と言って下さる人もいます。そういう人たちに会えるのが、老年に入ったら私の楽しみです。



## 力を合わせて

古間 村山 秀彦さん

私は信濃町に移住して早7年。人生の折り返し地点を通過し、今後の生き方を模索した結果、自然豊かで人の温かい、この信濃町で独立開業をすることを決めました。町の起業塾で学び、様々な方と出会いご支援や励ま

しをもらい昨年11月に、「合同会社むすび野」を開業することができました。

事業内容は、処方箋調剤もできる薬局と24時間対応可能な訪問看護ステーションを柱に、地域住民の方々が気軽に立ち寄って、お茶を飲みながら、健康や介護の相談が

できる「暮らしの保健室」を6名のスタッフで運営しています。なぜ、このような事業を始めたかと言うと、信濃町の在宅医療をさらに充実させ、病気を介して介護が必要になっても、住み慣れた自宅でも少しでも長く暮らすことができるようにしたいという思いからです。町内の医療介護関係者と力を合わせて頑張りたいと思います。

## 一茶と俳句

是がまあつひの桶か雪五尺 七番日記

文化九（一八一二年一月）五十歳

七番日記は、文化七年より文化十五年正月までの日記であり句帳である。

一茶は宝暦十三年（一七六三）五月五日に生まれる。安永六年（一七七七）の春、十四歳で江戸に出る。

文化九年（一八一二）十一月末、五十歳の時に柏原に帰る。江戸時代は旧曆。十一月末は、今の新曆では十二月末である。五尺は約一メートル五十センチ。雪の深さに驚き思わず声を発した言葉である。

一茶は文政十年（一八二七）十一月十九日に、焼け残った土蔵屋で六五歳で亡くなる。

竹内 恒男 抄出



是がまあつひの桶か雪五尺

句碑の横に立つ竹内恒男さん

昭和26年3月建立  
柏原 小丸山公園